

# 火焰型土器を

2020年

東京オリンピック・パラリンピックの  
聖火台に



国重文 津南町堂平遺跡 (文化庁所蔵)



国宝 十日町市笹山遺跡



国重文 長岡市馬高遺跡

火焰型土器とは、

縦横に渦巻く造形が燃えさかる炎を連想させる縄文土器です。

およそ 5000 年前に生み出された日本文化を代表するカタチです。



## 特別対談



# 小林達雄

(考古学者)

×

# 津川雅彦

(俳優・映画監督)

# 火焰型土器の魅力を語りつくす

2014年

日時: 11月3日 (月・祝) 14:00 ~ 16:00

文化の日

(受付開始 12:30)

会場: 東京国立博物館 平成館大講堂

(東京都台東区上野公園 13-9)

聴講無料

当日受付・先着順

定員 300名

当日は、東京国立博物館西門からのご案内となります。  
事前に東京国立博物館の総合文化展・特別展を観覧される際は、  
東京国立博物館構内から直接大講堂に向かうことはできません。  
東京国立博物館の総合文化展・特別展の観覧は、有料となります。

主催: 信濃川火焰街道連携協議会

新潟市 三条市 長岡市 十日町市 津南町

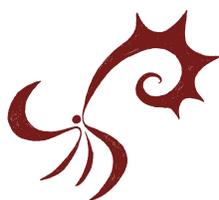
【問い合わせ先】

三条市市民部生涯学習課

〒955-0072 新潟県三条市元町 13 番 1 号

三条市中央公民館内

電話 0256-47-0048



信濃川火焰街道

